

家族で話し合って作成しよう

各家庭の状況に応じたマイ・タイムラインを作成し、家族で共有しておきましょう。ある家族の一例を紹介します。

我が家のマイ・タイムライン(台風版)	
台風到達まで	家族の行動
3日前	○避難場所を家族みんなで再確認しておく ○台風の強さや進路などを確認する
2日前	○自宅周りの点検(ベランダに風で飛びそうなものがないかなど) ○ハザードマップで地域の浸水被害予想を確認 ○停電などに備えた備蓄品(カセットコンロや懐中電灯など)の確認、避難を想定して非常持ち出し品(おむつやミルクなど)の確認
1日前	○おじいちゃんとおばあちゃんは事前に親戚の家へ避難する ○吹田市の災害関係情報を随時確認
数時間前 (避難情報発令) 最接近	○残りの家族で避難する ○避難所で台風通過を待つ
避難場所：○○小学校 TEL××××・×××× △△町△丁目△番△号	

point

①早い段階で避難場所を再確認

家族全員が避難場所を知っておきましょう。

②避難準備、避難開始などのタイミングを決めておく

避難に時間がかかる可能性のある高齢者や障がい者などは他の人よりも早めに避難することを決めておきましょう。

③必要なものを用意しておく

薬やおむつ、眼鏡など、生活に必要なものを準備しておくタイミングも記入しておきましょう。



マイ・タイムラインにプラスα

万全の備えを 防災用品のチェック

非常持ち出し品や自宅での備蓄品が不足していないか再度確認をしてください。日ごろから消費期限などを確認しておくことが大切です。



防災用品チェック
リストのページ

ハザードマップで事前予測

タイムラインを作成するときにも重要なハザードマップは市ホームページで見ることができるほか、市役所や出張所で配布している防災ハンドブックでも確認できます。家族全員が安全に避難できる経路などを確認しておきましょう。

府全体の情報を総括

防災ポータルサイト「おおさか防災ネット」

災害時に必要な情報をまとめた府と市町村で運用している防災サイトです。各種防災関連情報を閲覧できるほか、携帯電話などに警報や避難情報を受信できる「防災情報メール」の登録も可能。吹田市のページもあり、「市地域防災計画」などの情報を掲載しています。



おおさか防災
ネット

台風・豪雨に備えて

マイ・タイムラインを作ろう。

家族みんなで



大型台風や局地的な豪雨による被害を最小限にするため、災害発生時に市民がとるべき行動を示した台風(大雨・暴風)を想定したタイムラインを作成しました。これを参考に、自宅周辺の地形の特徴や家族構成、生活環境に合わせた「マイ・タイムライン」を作ってみましょう。☎危機管理室(TEL6384・1753 FAX6337・1631)。

🕒 タイムラインとは

大規模災害の発生に備えて、災害時の状況を予め想定したうえで、「いつ」「誰が」「何をするか」を基本に行動などを時系列で整理した防災行動計画です。

被害が発生することが予測しやすい台風や豪雨で特に有効とされており、過去の災害の教訓からも避難するかどうか判断するための大切な指針となるものです。

🕒 タイムラインの効果

行動の明確化

とるべき行動が明確であるため、市民一人ひとりが自主的に早めの行動をとることができます。

行動の事前共有

行動するタイミングと防災情報などの推移とを照らし合わせ、事前にそれぞれの役割分担と連携体制を明確にしておくことができます。

台風(大雨・暴風)のときのタイムライン

警戒レベル	市からの避難情報	あなたの行動	気象状況など
1		備えの再確認 ●ハザードマップで自宅周辺の危険な場所を確認する。 ●避難先(避難所や避難ビルなど)と避難経路を確認する。 ●非常持ち出し品を準備する。	台風到達 1~3日前
		●停電や断水でも生活できるように備蓄、準備する。 ●台風の進路などの情報収集を開始する。	
2		●気象情報など、テレビ、ラジオ、インターネットなどで情報をこまめに収集する。 ●屋外にいるときは、屋内へ移動する。	注意報
3	避難準備・ 高齢者等 避難開始	●いつでも避難ができるように準備する。 ●高齢者や乳幼児など避難に時間がかかる人とその支援者は避難を開始する。	警報
4	避難勧告 避難指示 (緊急)	●速やかに安全な場所(指定緊急避難場所など)への避難を開始する。	土砂災害・ 水害情報
		●すぐに安全な場所(指定緊急避難場所など)へ避難する。 ●外出することでかえって危険が及ぶ状況では、高い所へ避難をしましょう。	
5	災害発生	●すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生

※避難情報は、これまでの雨量や被災状況、今後見込まれる雨量などから、状況に応じて発令します。

※避難情報は、警戒レベル3の避難準備から警戒レベル4、5と順番に発令するとは限りません。

※避難情報は、防災行政無線、緊急速報メール、おおさか防災ネットなどで発信します。テレビやインターネットでの情報収集も可能です。